

平成 20 年 6 月 30 日  
東北電力株式会社  
東通原子力発電所

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）  
（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））

平成 19 年 3 月分

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況 (5月31日現在)	発生場所
1	H19.3.3	換気空調設備 (建屋内機器の正常な運転のために適切な環境にするための設備)	定期検査期間中，換気空調設備において原子炉建屋の空気風量を調整するために設置している弁の点検を行ったところ動作が緩慢であった。原因を調査した結果，当該弁の開度を調整する計器の動作不良が確認されたため，計器を取替えた。 工場にて当該計器を点検したところ，内部に傷等を確認した。傷は強い衝撃によるものと推定されるが，構造上衝撃を受ける箇所ではなく，原因の特定に至らなかった。	処置済み	原子炉 建 屋

2	H19.3.7	<p>高圧復水ポンプ吐出弁  （低圧復水ポンプで復水器から送られた復水を昇圧して原子炉側へ送るポンプの吐出側の弁）</p>	<p>定期検査期間中，分解点検を行った高圧復水ポンプ吐出弁の復旧後に，操作スイッチにて，弁の開閉操作（作動試験）を実施したところ，全閉とならなかった。点検を行ったところ，弁棒に作動試験によるものと考えられる摺動傷が確認されたことから，当該部品を取替えた。</p> <p>原因調査の結果，弁棒の摺動部分に何らかの異物が混入し，摺動傷が発生したものと判断した。このため，これまで行ってきた弁内部への異物混入防止対策に加えて，弁棒の摺動部についても異物の有無を確認し，完全に除去する様，工事要領書に反映した。</p>	処置済み	タービン 建屋
3	H19.3.12	<p>格納容器雰囲気モニタ  設備  （格納容器内の酸素濃度等を測定する装置）</p>	<p>定期検査期間中，格納容器内の酸素濃度等を測定する計器の流量指示が安定しないため，当該計器を取替えた。原因調査の結果，計器内部の部品が変形したことによるものと判断した。このため，定期的な部品交換を保守計画に反映した。</p>	処置済み	原子炉 建屋

4	H19.3.12	<p>原子炉建屋エアロック （原子炉建屋と他建屋間の間に設置している気密性を保つための扉）</p>	<p>定期検査期間中，原子炉建屋（南側）エアロック扉の押ボタンスイッチの押ボタン枠が緩んでいたため，開操作時にスイッチが扉本体に押し込まれて，動作できなくなった。そのため，押ボタン枠を締込み，復旧した。 原因調査の結果，押ボタン枠の緩みは，扉の開閉操作による衝撃によるものと判断した。このため，スイッチが扉本体に押し込まれないよう，スイッチ本体を扉に固定した。</p>	処置済み	原子炉建屋
5	H19.3.14	<p>補助ボイラーばい煙監視用カメラ （補助ボイラーからのばい煙の状況を監視する装置）</p>	<p>定期検査期間中，補助ボイラーのばい煙状況を監視するカメラの雪・水滴等を取除くワイパーが動かなくなったため，ワイパーを取替え正常に動くことを確認した。原因調査の結果，ワイパー駆動部の凍結により故障したものと判断した。このため，カメラの霜取り装置を常時使用する等の冬季間における運用方法を定め周知した。</p>	処置済み	屋外
6	H19.3.16	<p>制御棒駆動機構 温度検出器 （制御棒を出し入れする装置の温度を検出する装置）</p>	<p>定期検査期間中，制御棒を出し入れする装置の温度を検出する機器を点検したところ，温度検出器と配線および金属製のカバーが電氣的に接触していることが確認された。原因調査の結果，配線の被覆がほつれたことにより接触したと判明した。このため，配線のほつれを防止するカバーを取付けて復旧した。</p>	処置済み	原子炉建屋

7	H19.3.23	制御棒位置検出装置 (制御棒の位置を検出する装置)	定期検査期間中，制御棒の引き抜き操作をしていたところ，制御棒は正常に駆動していたが，誤警報（制御棒が定位置に静止していないことを示す警報で，本来制御棒駆動中には発生しない警報）が発生した。再度動作確認を行い，制御棒が正常に駆動することおよび警報が発生しないことを確認した。原因調査の結果，制御棒位置検出装置への伝送信号の入出力タイミングのずれによるものであると判断した。このため，信号の伝送基板とケーブルを取替えた。	処置済み	原子炉 建屋
8	H19.3.29	移動式炉心内計装設備 (原子炉の上下方向の中性子束分布を測定する装置)	定期検査期間中，原子炉の上下方向の中性子束分布を測定する装置において検出器を原子炉内に移動させようとしたところ動作しなかった。原因を調査した結果，装置を作動させるスイッチの接触不良および電源装置の回路不良と判断したため，当該スイッチと電源装置の一部を取替えた。取替えた部品を工場にて調査したところ，電源装置の偶発的な故障と判断された。	処置済み	原子炉 建屋

・「不適合」とは，要求事項を満たしていない状態をいいます。

処置状況欄記載の「対応中」，「補修済み・取替済み・復旧済み」，「処置済み」については，以下の状況をいいます。

- ・対応中：要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み：要求事項を満足する状態に復旧済みです。  
今後，原因調査，対策等を講じます。
- ・処置済み：要求事項を満足する状態に復旧し，原因調査，対策等を実施済みです。  
なお，今後，水平展開について検討・対応します。

(注)平成19年2月分より，処置状況の記載を変更しております。